



埼玉県マスコット
「さいたまっち&コバトン」

令和3年度

埼玉農業大賞表彰式

とき：令和3年11月26日（金）

ところ：埼玉県知事公館

Saitama Agricultural Awards



いちごハウス（吉見町）



目 次

埼玉農業大賞について	1
選考経過報告	2
埼玉農業大賞受賞者	3
埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門受賞者紹介	4
株式会社横田農園	6
株式会社エノファ	7
埼玉農業大賞 地域貢献部門受賞者紹介	8
JA ちちぶ園芸部会	10
加須市酒米生産者協議会	11
農事組合法人吉川受託協会	12



このたび、令和3年度埼玉農業大賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営に取り組み、埼玉農業の振興や地域活性化に貢献された方々の功績を称えるとともに、そのビジネスモデルを広く発信し、埼玉農業を更に発展させていくことを目指しています。

受賞された皆様の農業経営に対する並々ならぬ熱意とたゆまぬ努力に対し、深く敬意を表するとともに、その優れた技術力や経営能力を存分に発揮し、今後の埼玉農業の発展に格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本県は温暖な気候や肥沃な土壌、豊かな水に恵まれています。また、大消費地である首都圏の中央に位置し道路網や鉄道網が充実した交通の要衝であり、多数の食品関連産業が立地しています。

こうした強みを生かし、本県では農業産出額が全国第5位の花き、第8位の野菜をはじめ、米、麦、果実、畜産など多彩な農畜産物が生産されています。

このような埼玉農業の競争力を持続させるためには、新規就農者や地域を牽引する担い手の育成、農業経営力の強化などが重要です。埼玉農業が成長産業となるため、これらに全力で取り組んでまいります。

一方、昨年来、新型コロナウイルス感染症の拡大により、農業を含め本県の経済・社会は未曾有の打撃を受けております。このような大変厳しい状況の下、農業現場で御尽力されている皆様には心から感謝申し上げます。県として、影響を受けた農業者の経営継続に向けた取組をしっかりと行い、埼玉農業が持続的に成長できるよう支援してまいります。

結びに、本日受賞された皆様の今後ますますの御活躍を祈念いたしますとともに、本事業に御協力いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。

令和3年11月26日

埼玉県知事 大野 元裕

埼玉農業大賞について

(1) 趣旨

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営に取り組む方や、新規性、独創性のある技術を持ち今後大きく飛躍が見込まれる方、地域農業の振興に優れた功績を上げている方に、知事の表彰状を贈り、その成果を称え広く紹介することによって、本県農業の持続的な発展に資するものです。

(2) 表彰

賞の対象は、県内で意欲的に農業を営む個人・法人又は団体とし、埼玉農業大賞に、農業ベンチャー部門及び地域貢献部門を設けています。

表彰は、農業ベンチャー部門及び地域貢献部門で、最も優秀な者それぞれ1点を大賞とし、また、大賞に次ぐ優秀な者それぞれ原則1点を優秀賞として賞します。

(3) 主催

埼玉県

(4) 後援

埼玉県農業協同組合中央会、埼玉県信用農業協同組合連合会、
全国農業協同組合連合会埼玉県本部、
全国共済農業協同組合連合会埼玉県本部、
埼玉県農業共済組合、一般社団法人埼玉県農業会議、
公益社団法人埼玉県農林公社、一般社団法人埼玉県畜産会

(5) 特別協賛

J A グループさいたま
株式会社協同商事コエドブルワリー、株式会社ひびき
弓削多醤油株式会社、お菓子な郷推進協議会

選考経過報告

(1) 募集

農林振興センター、市町村等の長に対し、令和3年5月27日（木）から令和3年7月9日（金）までの間、埼玉農業大賞の募集を実施した結果、農業ベンチャー部門8点、地域貢献部門6点の推薦がありました。

(2) 選考

埼玉農業大賞表彰要綱第5条第2項の規定に基づき、埼玉農業大賞選考委員会を組織し、次のとおり選考委員会を開催しました。

ア 埼玉農業大賞選考委員会幹事会の開催

令和3年8月4日（水）、埼玉農業大賞選考委員会幹事会を開催し、予備選考を実施しました。

イ 埼玉農業大賞選考委員会の開催

令和3年9月6日（月）、埼玉農業大賞選考委員会を開催し、農業ベンチャー部門・地域貢献部門で大賞及び優秀賞の選考を実施しました。

埼玉農業大賞選考委員会

役 職	氏 名	職 名 等
委員長	篠崎 豊	学識経験者
副委員長	西田 秀生	埼玉県農業協同組合中央会 常務理事
委 員	江口 幸治	埼玉大学大学院人文社会科学部研究科 准教授
委 員	近藤美恵子	中小企業診断士
委 員	白石 哲也	(株)日本政策金融公庫さいたま支店 農林水産事業統轄

(3) 選考結果

推薦されました事例はいずれも革新的な農業経営に取り組み、また、地域農業の振興や活性化に優れた活動を行うものであり、選考は難航しました。

選考の結果、埼玉農業大賞農業ベンチャー部門の大賞として1法人、優秀賞として1法人、地域貢献部門の大賞として1団体、優秀賞として1団体と1法人を令和3年度埼玉農業大賞受賞者といたしました。

埼玉農業大賞受賞者

(1) 農業ベンチャー部門

敬称略

区分	受賞者名
大賞	<small>かぶしきがいしやよこたのうえん</small> 株式会社横田農園（吉見町）
優秀賞	<small>かぶしきがいしや</small> 株式会社エノファ（さいたま市）

(2) 地域貢献部門

敬称略

区分	受賞者名
大賞	<small>えんげいぶかい</small> JAちちぶ園芸部会（秩父地域）
優秀賞	<small>かぞしさがまいせいさんしやきょうぎかい</small> 加須市酒米生産者協議会（加須市）
	<small>のうじくみあいほうじんよしかわじゆたくきょうかい</small> 農事組合法人吉川受託協会（吉川市）

埼玉農業大賞
農業ベンチャー部門
受賞者紹介



農業ベンチャー部門 大賞

かぶしきがいしゃよこたのうえん
株式会社横田農園

1 経営概要

- (1) 所在地 吉見町
(2) 代表者名 代表取締役 横田 進よこた すずむ
(3) 経営内容 いちご 7,250㎡、水稻 4.1ha 他

2 受賞理由

- (1) パイプハウスと先端技術を駆使し、低コストながら高い収益性を可能とし、経営面積を拡大している。
- (2) 会社組織を総務・ネット販売部、就農支援部、生産部の3部門に分け責任者を配置し、生産性を上げている。就労時間は原則8時間とし、ウェブでの打ち合わせやテレワーク勤務の導入も行っている。
- (3) 独立就農希望者に対し、農園内で栽培から販売までの実践的な研修を行っており、今までに12名が吉見町内外で就農している。
- (4) 地域のいちご生産者の高齢化等による労働力不足を受け、土壌消毒やマルチ張りなど、年間1,200時間に上る作業受託を行っている。



横田進氏（前列左3番目）



いちごの育苗作業

かぶしきがいしゃ
株式会社エノファ

1 経営概要

- (1) 所在地 さいたま市
- (2) 代表者名 代表取締役 えのもと 榎本 けんじ 健司
- (3) 経営内容 ミニトマト 2,640㎡、露地野菜 2.2ha 他

2 受賞理由

- (1) 主力の栽培品目はトマトで、ミニトマトを中心に現在 15 品種を栽培している。露地野菜は、年間 100 種類と消費者ニーズに合わせて大変な数の品種・品目を栽培しており、地元だけではなく、都内飲食店から強い引き合いがきている。
- (2) 農家レストランの運営やトマトを使った加工品の開発・製造に取り組んでおり、経営の多角化を進めている。
- (3) 市民向けの農業講座や子供向けの農業体験教室の開催等も行っており、地域農業にも大きく貢献している。

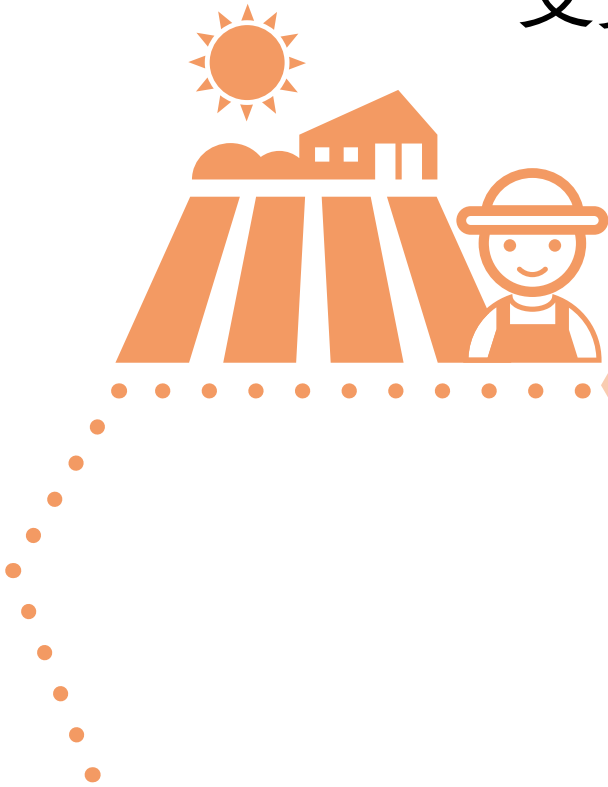


榎本健司氏（前列中央）



市民向けの農業講座

埼玉農業大賞 地域貢献部門 受賞者紹介



JAちちぶ^{えんげいぶかい}園芸部会

1 団体概要

- (1) 所在地 秩父地域
- (2) 代表者名 部会長 新井 ^{あらい} ^{まさお} 正夫
- (3) 構成員 74人

2 受賞理由

- (1) 代表的な出荷品目である「きゅうり」は、産地の活性化を図るため、新規参入希望者を積極的に受け入れるとともに、最新技術の導入やハウスの増設、部会員の栽培技術の高位平準化を図っている。
- (2) このような取組により、きゅうりの販売金額は10年で約1億1百万円増加し、160%の大幅な伸びとなっている。
- (3) 高齢化により、きゅうり栽培ができない部会員には、なす、いんげん、しゃくし菜、アスパラガスの栽培を推進し、地域の農地の有効活用が図られている。



部会長 新井正夫氏



きゅうり規格検討会

◆ 地域貢献部門 優秀賞

か ぞ し さ か ま い せ い さ ん し ゃ き ょ う ぎ かい 加須市酒米生産者協議会

1 団体概要

- (1) 所在地 加須市
- (2) 代表者名 会長 しのつか 篠塚 としお 敏雄
- (3) 構成員 14名

2 受賞理由

- (1) 地元の醸造会社や加須市酒類販売所組合、加須菓子工業組合と連携し、地元オリジナル商品を開発し、地域の活性化を図ることをテーマに活動している。
- (2) 酒米の生産量は年々増加しており、現在は10haの栽培を行っており、生産した酒米は市内外の酒蔵など6蔵に原料として供給している。
- (3) イギリスで開催された品評会において、地元の醸造会社が協議会の生産した酒米を原料に使用した日本酒「加須の舞」で、金メダルを受賞し、地域の大きなPRとなった。



酒造好適米品種「山田錦」の田植え式
(会長 篠塚敏雄氏：前列右6番目)



加須市酒米生産者協議会のメンバーと
品評会で金メダルを受賞した「加須の舞」

◆ 地域貢献部門 優秀賞

のうじくみあいほうじんよしかわじゅたくきょうかい
農事組合法人吉川受託協会

1 経営概要

- (1) 所在地 吉川市
- (2) 代表者名 代表 ながせ たかひろ 永瀬 隆弘
- (3) 経営内容 水稻 130ha (うち作業受託 124ha)、養殖なまず 2,057㎡

2 受賞理由

- (1) なまズの養殖から、吉川市のまち興しを支援することを理念とし、「なまズの里よしかわ」のネームバリューや経済活動を支える重要な役割を担っている。
- (2) なまズ生産については、県の水産試験場（現水産研究所）と協力しながら試行錯誤の末、安定的な飼養管理技術を確立し、稚魚から成魚まで一貫した生産を行っている。
- (3) 吉川市の水田を積極的に耕作しており、委託者からの多様な要望にもきめ細やかに対応していることから、地域から信頼される存在となっている。



代表 永瀬隆弘氏（前列中央）



養殖したなまズの出荷作業

M E M O

COEDO
www.coedobrewery.com

Beer Beautiful



『FIG HARD SELTZER』ABV4.0% 333ml

埼玉県 150 周年にむけ、COEDO より埼玉の豊かな土地から得られる恵みに感謝を込めて、川島町で採れた瑞々しいイチジクを用いたハードセルトザーで祝福します。糖と少量の麦芽を発酵させてアルコールを造り、イチジク由来のフルーティなフレーバーと爽やかな酸味、弾ける炭酸と軽やかな口当たりをお楽しみいただけます。

New! 11月12日発売!

ひびき



彩の国黒豚しゃぶしゃぶ



東松山みそだれやきとり



秘伝のみそだれ



埼玉県の食材を、ふんだんに使用しています。

<https://www.hibiki-food.jp>

国産メイプルシロップの郷づくり

森を育て、お菓子を つくる。

秩父カエデ糖

モンドセレクション受賞

秩父カエデ糖 使用のお菓子

発売中

秩父の恵み カエデ糖

太白芋のお菓子

発売中!

すずね 太白芋まいも 菓子になる

地産地消の菓子づくり

幻の芋、復活。

お菓子な郷推進協議会

〒368-0042 埼玉県秩父市東町13-7 ☎0494-22-0838 ☎0494-22-9289



埼玉県産大豆・小麦使用
ふるさと認証食品



多割醤油株式会社

醤油王国日高本店 日高市田波目 804-1
☎ 0120-417-059

醤油王国川越時の鐘店 川越市大手町 14-5 1F
☎ 049-298-4491

本社 坂戸市多和目 475
☎ 0120-87-0811

しょう油 醤油王国

彩の国

<https://www.yugeta.com> 日高本店のみ 工場見学受付中!

コメで勝つ!

元気いっぱい埼玉のお米



彩のかがやき コシヒカリ 彩のきずな

ポスター撮影
メイキング
ムービー
はこちら→



JAグループさいたま 埼玉米販売促進対策本部 | JA全農さいたま TEL.048-799-7000

埼玉県産新米キャンペーン

埼玉のお米を食べて、埼玉の農畜産物を味わおう!

キャンペーンにご応募いただいたお客様の中から、抽選により**総勢311名様**にプレゼント!

A賞：彩の国黒豚味噌漬け生姜焼きセット 100名様

味噌漬け ロース200g×1、肩ロース200g×1、生姜焼き ロース200g×1、肩ロース200g×1



B賞：埼玉県産「彩のかがやき」バックご飯1ケース 100名様

(180g×30食入り)



C賞：埼玉県産小麦の4種イタリアンピザセット 100名様

9インチ (22cm)×4食入り (マルゲリータ、ジェノベーゼ、クワトロフォルマッジ、サルシッチャイタリアンソーセージ)



D賞：浦和レッズ選手 サイン入り ユニフォーム 1名様
浦和レッズ選手 サイン入り 色紙 10名様



主催：JAグループさいたま 埼玉米販売促進対策本部 お問合せ先：JA全農さいたま「埼玉県産新米キャンペーン」係 TEL.048-799-7000 (平日9:00~17:00) ※写真はイメージです

キャンペーン詳細はJAグループさいたま「埼玉県産新米キャンペーンサイト」をご覧ください→

